

# 令和4年度 第一回 新庁舎建設検討委員会

1. 令和3年度第一回新庁舎建設検討委員会について
2. 基本構想のパブリックコメントで頂いた意見について
3. 新庁舎の機能について
4. 複合化について
5. 第二回検討委員会について

# 令和4年度 第一回 新庁舎建設検討委員会

## 1. 令和3年度第一回新庁舎建設検討委員会について

1 開催日 令和4年2月24日

2 出席人数 出席者7名

3 委員長・副委員長選出

委員長に高橋委員、副委員長に和田委員選出

4 事務局より配布資料の説明

検討委員会の位置づけ、基本構想は基本的な方針となること、今後のスケジュールについて説明

5 主な意見等

- 図書館・文化センターは、面積が小さく、ニーズが満たせない可能性があるため、別施設が良い
- 事業手法は従来方式とリース方式で進めるのか
- 議会機能と文化センターの併用も検討すべき
- 庁舎建設自体への補助金はあるか。また、リース方式の場合は補助金はあるか



# 令和4年度 第一回 新庁舎建設検討委員会

## 2.基本構想のパブリックコメントで頂いた意見について

### 1 提出意見について

- |                 |    |                  |    |
|-----------------|----|------------------|----|
| • 白樺公園用地について    | 5件 | • 現庁舎用地について      | 4件 |
| • JA北いしかり用地について | 4件 | • 複合化について        | 2件 |
| • 財源等について       | 5件 | • 基本方針・基本理念等について | 4件 |

### 2 意見概要

- 白樺公園は駅前に野生動物も見られる緑豊かな公園のため、庁舎を建てないでほしい
- 建設費用、建設に要する時間から現庁舎用地が良い
- JA北いしかり用地は、交通アクセスや利便性が高いことや、まちの活性化につながる
- 図書館や文化センター機能を庁舎に複合化すると「添え物」になる可能性があるため反対
- 民間の資金調達力や事業ノウハウを活用してほしい
- 財政負担の軽減に努めてほしい
- 耐震化工事を行い、15年延ばしたうえで、将来の庁舎の形を検討していくのも手である

# 令和4年度 第一回 新庁舎建設検討委員会

## 3.新庁舎の機能について

### ①新庁舎の所要室について

所要室名	試算面積 (㎡)	根拠等
①事務室	1,180	職員数 180 人の場合の 国土交通省基準(以下、 基準と記載)より
②付属所要室 会議室(主任職員用)、倉庫、宿直室(当直室)、湯沸かし室、受付 及び巡視溜、便所及び洗面所、福利厚生室、更衣室、医務室、売 店、食堂・準備室、用具室、ゴミ庫等	610	基準及び一部道内事例 (以下、事例と記載)より
③固有業務室等 ○議会、議場(傍聴席含む)、正副議長室、議会事務局、議員控室、 委員会室(理事者控室兼用)、監査委員事務局、選挙管理委員会 事務局等、議会図書室・ラウンジ等	530	基準
○車庫	400	基準
○業務支援機能 相談室(授乳室含)、会議室、サーバー室(電算)、印刷室、防災対 応室備蓄倉庫等	670	基準
④設備関係 ○機械室、電気室、自家発電室	400	基準
⑤交通部分 玄関、広間(ロビー)、廊下、階段室等	1,300	基準
⑥町民交流スペース	50	事例
合計	5,140	

国土交通省基準、総務省要綱で示された庁舎所要面積の算定基準及び、現庁舎の諸要室を基本に他市町村事例を参考に最低限庁舎として必要な面積を積み上げ、庁舎のみの試算面積を5,140㎡としております。

この中で機能を重複させることのできるものを集約し、面積・全体事業費の削減を図ります。

# 令和4年度 第一回 新庁舎建設検討委員会

## ②新たに追加を検討する機能

現庁舎に不足している大きな機能として防災機能があります。  
役場庁舎は災害時、対策本部を設置する災害対策の拠点となることから、災害によって想定される被害、対応するために必要な設備等を下記の通りまとめております。

想定被害、懸念事項	対応するために必要な設備
建物の損壊、破損	耐震機能
停電による業務、設備の停止	無停電装置、発電機、備蓄燃料、貯蔵倉庫の設置
通信回線遮断に伴う通信機能停止	防災行政無線、衛星電話等
飲用水供給の停止	受水槽の設置
トイレ、洗面等の停止	貯留槽の設置
浸水による業務、設備の停止	床レベルの嵩上げ
落雷による施設の損壊	避雷針
災害対策本部の設置	大型モニタ、情報通信環境の整備(会議室等と併用)
災害による一時避難者の受け入れ	受け入れスペースの確保(会議室等と併用)

## 4.複合化について

### ①公共施設の更新に対する考え方

●将来の費用負担を推計し、老朽化した施設の統廃合・除却や余剰施設の複合的な活用・除却、施設の長寿命化や民間資金の導入などを行い行政サービスを維持しつつ、長期的な財政支出の削減を図ります。

●施設の更新時には、PFI事業などの公民連携による民間資金、ノウハウを活用・導入する検討を行います。

(当別町公共施設総合管理計画)

●補助金の動向、官民連携の可能性を視野に入れ、保有形態の見直しも含めた事業手法を選定していく。

(当別町庁舎建設基本構想)

現在の庁舎は、耐震基準を満たしていないことから早期建設が必要です。しかし財政的に厳しい状況であることから、事業費の抑制が必須であり、事業費抑制には建設面積(規模)の縮減が必要です。また、近年の世界情勢の悪化、資材費の高騰、労務費の継続的な上昇なども早期建設にマイナス要素となっております。

一方、デジタル化により、これまで以上に利便性を高めることは十分可能であることから、全ての機能を新庁舎に含める以外に、分散配置することも選択肢の一つであると考えます。

# 令和4年度 第一回 新庁舎建設検討委員会

## ②検討委員会、パブリックコメントの意見

- 図書館、文化センターは、庁舎とは性質が異なるため、無理に複合化する必要はない
- 庁舎だけの建設であれば事業費を削減することができる
- 庁舎に合わせた面積ではニーズに答えられる規模の施設にはならない
- 官民連携による財政負担の軽減を図ること

# 令和4年度 第一回 新庁舎建設検討委員会

## ③町内の民間事業者による動向

当別駅南側に民間事業者がホテル兼賃貸住宅を建設予定。

その一部分を町へ賃貸又は部分買取の提案があり、公共施設として整備することが可能。



建物イメージ



# 令和4年度 第一回 新庁舎建設検討委員会

庁舎自体には補助金はありませんが、対象となる施設を複合化することでその施設について補助金の活用が可能となります。

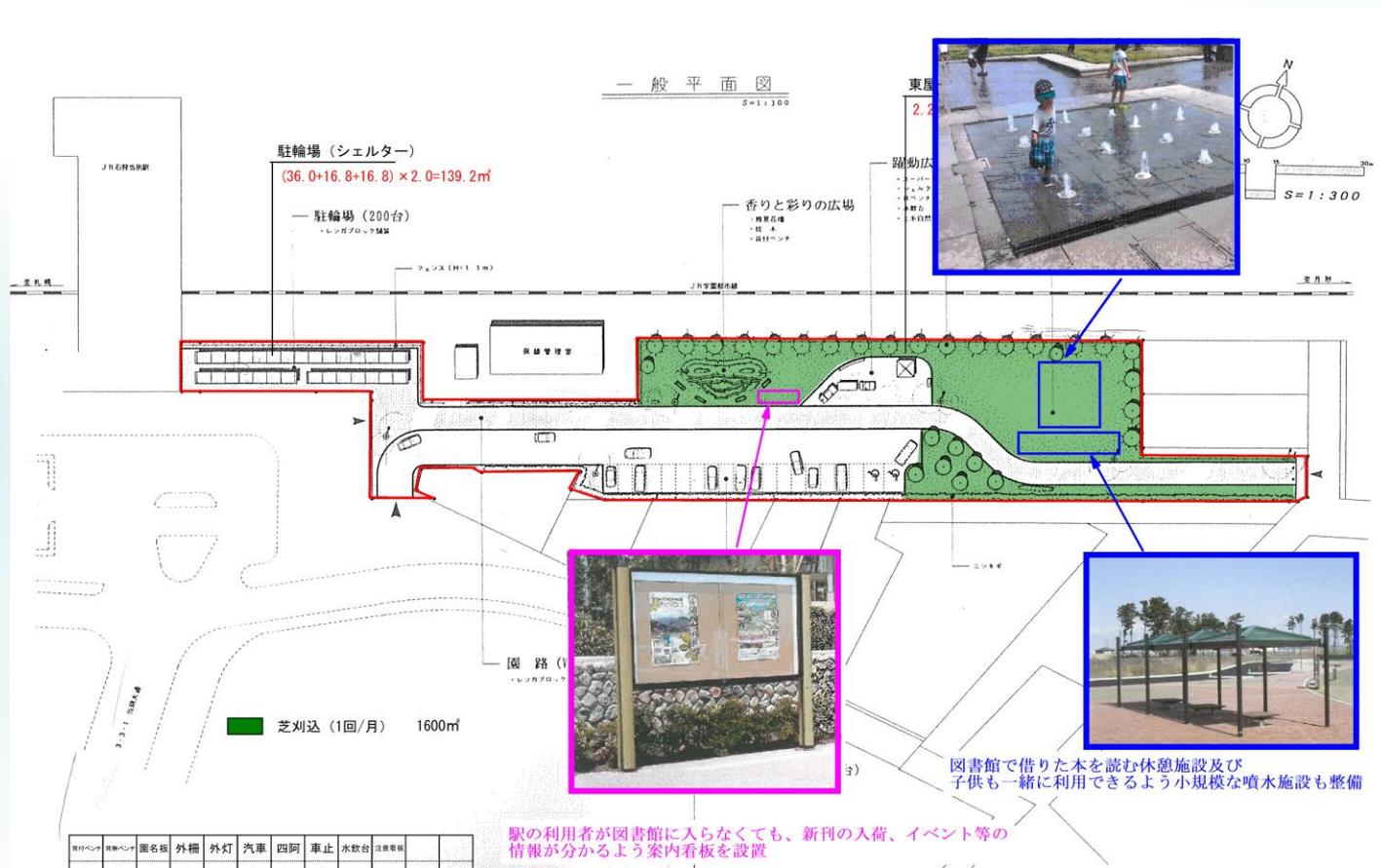
その例として、公共施設整備と併せて、駅周辺の利便性向上につながる面的整備を実施することにより、公共施設を含めた整備への補助金の活用が可能。例えば前頁のホテル兼賃貸住宅に図書館を複合化した場合の整備例を紹介します。

整備内容) 駅周辺に図書館への表示看板の設置。



# 令和4年度 第一回 新庁舎建設検討委員会

整備内容) 図書館敷地に隣接する公園に、図書館の情報を発信する看板の設置。借りた本を公園内で読める休憩施設及び子供が遊べる噴水施設の整備。



# 令和4年度 第一回 新庁舎建設検討委員会

## ④複合化についてまとめ

- 庁舎とは性質が異なる施設については、庁舎に合わせると小規模になるため無理に複合化する必要はなく、庁舎単体の建設であれば事業費の削減にもなる。
- 町の公共施設に対する考え方として、PFI事業、官民連携事業及び保有形態の見直しも含めた検討が必要である。事業費削減、早期建設には建設面積の削減が必須であり、機能の分散化も検討。
- 民間事業者から駅前に建設予定のホテル兼賃貸住宅への一部貸与等の提案があり、あわせて駅周辺の面的整備を実施した場合、公共施設を含めた整備への補助金の活用が可能であり事業費削減となる。

# 令和4年度 第一回 新庁舎建設検討委員会

## 5.第二回検討委員会について

### 検討スケジュール案

検討事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施回数	
必要機能		→												2
建設規模							→						1	
建設地									→				1	
事業手法		→											2 重複あり	
基本計画のまとめ												→	1	
検討委員会			○		○		○		○		○	○	6	

住民説明会

検討状況により随時スケジュールを調整していきます。